

## 第3回 名古屋市アジア競技大会招致推進本部会議

### 次 第

日 時：平成28年9月5日（月）幹部会終了後～

場 所：本庁舎2階 特別会議室

#### 1 開会

#### 2 議題

○アジア競技大会の共同招致について

（配布資料）

- 資 料 1 アジア競技大会の共同招致について
- 資 料 2 アジア競技大会にかかる県市負担割合の交渉経緯について【非公開】
- 資 料 3 名古屋市の最終提案

## アジア競技大会の共同招致について(案)

## 1 立候補表明の取下げ

共同招致の前提条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア競技大会の開催にあたっては多額の開催経費が必要。</li> <li>・このため、市民や議会に対し、現時点での選手村整備費を含めた大会全体経費を可能な限り示し、理解と協力が得られる県市負担割合を示すことが不可欠。この点を繰り返し県に主張してきた。</li> </ul>
-----------	--

県の今後の予定	<p><b>9月6日(火) 13:00</b> 開催構想 ver2 の自民党議員への事前説明 <b>夕方 開催構想 ver2 の公表</b></p> <p>県の方針としては、開催構想 ver2 に大会開催経費、県市負担割合は掲載しない。(=本市が繰り返し主張してきた前提条件を満たさないことが明らかとなった)</p> <p>9月7日(水)～ 県知事海外渡航 (ベトナムなど)</p>
---------	---

方針	<p>開催構想 ver 2 は、県・市が OCA 総会において立候補意思を表明する際に、OCA に提出する立候補意思表明書の一部であり、その<b>開催構想に大会開催経費等を掲載しないことは、本市として市民や議会への説明責任を果たすことができないと判断</b>した。</p> <p>このため、「市長はOCA総会に出席しない」、「開催都市契約書にサインしない」、「補正予算も出さない」、すなわち<b>立候補表明を取り下げる(共催を白紙に戻す)</b>こととするとともに、開催構想から「市長のあいさつ」などを削除する方針で臨む。</p>
----	---

対応	<p><b>本日の招致推進本部会議で立候補の取下げを議論・決定</b></p> <p>市長定例記者会見、県への通知、JOC への通知</p> <p><b>9月7日 総務環境委員会(所管事務調査)で説明</b></p>
----	--

## 2 今後の共催の可能性

愛知県が、本市の提案に真摯に耳を傾け、OCA、JOC の了解など条件を整えたいうえで、改めて共催の申し入れを行ってきた場合、本市としても真摯に検討する。

## 【名古屋市の最終提案】

○大会全体経費の県市負担割合 **2 : 1**

〔大会全体経費〕

- ・運営経費等 300 億円
  - ※スポンサー料収入等 250 億円を除く公費負担分
- ・選手村整備費 300 億円

運営経費等	県 200 億	市 100 億
-------	---------	---------

選手村整備費	県 200 億	市 100 億
--------	---------	---------

合 計	県 400 億	市 200 億
-----	---------	---------

○瑞穂陸上競技場については、市が現在計画中の整備内容を超えて、アジア競技大会を開催するために必要となる改築等の追加経費は愛知県が負担する。

○名古屋競馬場跡地の選手村としての整備とアジア競技大会後の跡地利用について、県市関係部局による共同検討体制を構築して速やかに検討を開始する。

アジア競技大会は、名古屋市内だけでなく県内全域の競技会場を使用して開催する予定であり、競技会場数の県市割合や県市の人口割合などから、大会全体経費の県市負担割合は「3 : 1」が適切であると考えている。

しかし、この地域の発展・振興のため、県市が協力して「共催」という形でアジア競技大会を成功させるという重みに鑑み「2 : 1」とする。

## 【過去の同事業における県市負担割合】

あいちトリエンナーレ(3 : 1)、愛・地球博(3 : 1)、ESD(3 : 1)

## 【3 : 1の根拠】

- ・全競技会場数 51 会場(未定 5 会場を除く)に対し、名古屋市内にある競技会場数 16 会場(3.18 : 1 ⇒ 約 3 : 1)
- ・愛知県の人口約 750 万人に対し、名古屋市の人口約 230 万人(3.26 : 1 ⇒ 約 3 : 1)